

製品名: ABAT ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85594**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 56 kDa

抗原情報

遺伝子名	ABAT
別名	ABAT; GABA transaminase; GABA transferase; GABAT; LAIBAT
遺伝子 ID	18.0
SwissProt ID	P80404
免疫原	ヒト GABA-T の合成ペプチド

背景

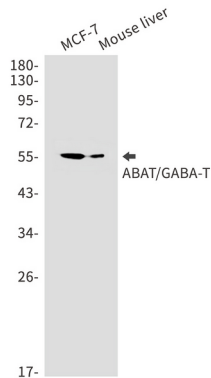
γ -アミノ酪酸および L- β -アミノイソ酪酸をそれぞれコハク酸セミアルデヒドおよびメチルマロン酸セミアルデヒドに変換する触媒作

用を有する。また、 δ -アミノ吉草酸および β -アラニンも変換できる。

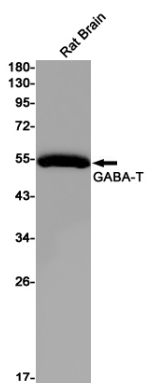
研究分野

-

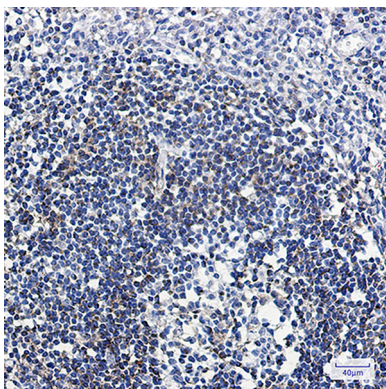
画像データ



ABAT 抗体を使用した、MCF-7 マウス肝臓溶解物中の ABAT/GABAT のウェスタンブロット分析。



GABAT 抗体を使用したラット脳溶解物中の GABAT のウェスタンブロット分析。



ABAT/GABAT 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。